

科目名称:ソーシャルワーク論Ⅳ					
担当者名:柴田 紀子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年後期	講義	選択	2	社会福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		14214004
<p>授業概要:ソーシャルワーク論Ⅲ・Ⅳを通して、ソーシャルワーカーとして多様化・複雑化する課題に対応するために、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法について講義を行う。</p> <p>ソーシャルワーク論Ⅳでは、①ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術、②コミュニティワークの概念とその展開、③ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて学ぶ。</p>					
<p>到達目標:①ケアマネジメントについて理解できる。</p> <p>②集団を活用した支援について理解できる。</p> <p>③コミュニティワークについて理解できる。</p> <p>④スーパービジョンとコンサルテーションについて理解できる。</p>					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 オリエンテーション			ソーシャルワーク論Ⅳのシラバスを読み、教科書に目を通して、授業の概要を把握する(30)		
第2回 ソーシャルワークの面接			教科書 p.185-207 を読んでおくこと(60)		
第3回 ソーシャルワークの記録			教科書 p.209-237 を読んでおくこと(60)		
第4回 ケアマネジメント(1) ケアマネジメントの原則 の意義と展開方法(1)			教科書 p.239-244 を読んでおくこと(60)		
第5回 ケアマネジメント(2) ケアマネジメントの意義と展開方法			教科書 p.245-253 を読んでおくこと(60)		
第6回 集団を活用した支援(1)グループワークの意義と目的、グループワークの原則			教科書 p.255-267 を読んでおくこと(60)		
第7回 集団を活用した支援(2)グループワークの展開過程、セルフヘルプグループ			教科書 p.268-277 を読んでおくこと(60)		
第8回 コミュニティワーク(1) コミュニティワークの意義と目的			教科書 p.279-285 を読んでおくこと(60)		
第9回 コミュニティワーク(2) コミュニティワークの展開1			教科書 p.286-294 を読んでおくこと(60)		
第10回 コミュニティワーク(3) コミュニティワークの展開2			教科書 295-300 を読んでおくこと(60)		
第11回 ソーシャルアドミニストレーション			教科書 301-315 を読んでおくこと(60)		
第12回 ソーシャルアクション			教科書 317-337 を読んでおくこと(60)		
第13回 スーパービジョンとコンサルテーション(1)			教科書 p.340-350 を読んでおくこと(60)		
第14回 スーパービジョンとコンサルテーション(2)			教科書 p.351-354 を読んでおくこと(60)		
第15回 まとめ			授業の内容を教科書、資料、ノートを用いて見直しておくこと(120)		
履修に必要な予備知識や技能:ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習した内容を理解しておくこと。新聞・テレビ等の報道や文献を用いて、社会福祉制度の現状や現代社会の生活課題等について理解しておくこと。					
課題に対するフィードバック:授業内でふりかえりシートを課し、その記載内容について、次の授業でフィードバックする。					
評価方法・基準:授業におけるふりかえりシート 20%、定期試験 80%					
教科書:『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目]』 中央法規出版					
備考:					
実務経験の内容・期間:なし					